



倉敷高校新聞

発行所
倉敷高校広報部
岡山県倉敷市鳥羽 283
校長 福田 耕士

高大接続活動を開始

高大接続活動スタート

七月十五日・十六日・十九日の三日間で、全校生徒の取り組み「高大接続3+4」の活動を行いました。(高校での3年間の学びにとどまらず、その先の大学・短大・専門学校を視野に入れた学習機会を提供する)各専科・コース・系でそれぞれの専門的な内容や進学・就職に向けた講義や活動が行われました。生徒が主体となり、普段の授業とは一味違った体験ができ、生徒も生き生きと学習を進めていました。



就職・進学に向けて総合

普通科総合探究コース三年生は進学する生徒と就職する生徒にわかれて進路について学習を行いました。進学する生徒は特進の生徒と一緒に大学見学や講義を受けました。就職の生徒は、就職に関わる基礎知識の定着を図り、自身の将来に向けて明確な活動方針を持てるいい機会となった様子でした。

IQゼミを通して総合

普通科総合探究コース二年生では「IQゼミ」(自ら課題に関心を持ち、課題解決のために探究していくこと)が実施されました。生徒は各班にわかれ、興味のあるテーマを自ら設定し、フィールドワークを行いました。そのテーマで解決する事柄を探索し考えを

Facebook
[HP] <https://kurashiki.ac.jp>

まとめていきました。生徒は協力しながら、フィールドワークやアンケートなどの探究活動を主体的に進めていき、最終日に発表を行いました。今後、情報収集などの活動を継続して行い、自分たちのテーマに関して「自分たちの答え」を見つけ出していきたくて語っていました。



大学進学への第一歩 特進

特進一年生は川崎医療福祉大学の直島 克樹教授をお招きし、特別講義をしていただきました。「貧困」についてグループワークを交えながらの講義となりました。生徒は聞き入るように、直島教授の話しに耳を傾けていました。質疑応答の時間には「貧困」のことだけではなく、大学のことなどについても積極的に質問していました。今回の高大接続活動を踏まえて、生徒達の大学進学への意欲がより一層深まったようでした。

学年を超えた取り組み 商業

七月十五日・十六日・十九日の三日間で商業科の学年を超えた取り組みをスタートさせました。

一年生から三年生が十三グループに分かれて、各三年生の班長が指揮をとり、「商業科新聞」「SDGsの調べ学習」を行いました。

各班長が皆をまとめながら、様々な工夫を凝らした新聞・SDGsの発表ができていました。今後もこのような活動を通して商業科が盛り上がり、生徒たちは意気込んでいました。

